

当局の4つ機制的「学生参加」 幻想の「プロレタリア」攻撃をばな なして、20年安保を防止革命中 教審省申「粉砕」を具体化せよ

本日、三学学生部長団交・4.14学長団交
に結集し「民主的」市大の本質を暴露し出せ、

「プロレタリア市大支部」

全国学園斗争がくり出した階級対立
―大学の帝国主義的再編・ヤニ管法
―中教審省申と帝国主義大学解体の
思想対立―

一日東京、二日日本、三日東京において
頂点に達した全国学園斗争の今日の高潮
は、国家・機動隊の圧倒的暴力に抗して
救急をくり返しながら大衆的「エスエル」
を不死鳥の如く再生させる事によって中
教審省申と大学臨時措置法粉砕の全国で
エスエルに同った戦いの道を切り開きつつ
ある。明らかに新しい自己否定的質と根
底的志向性、實めかれた全国学園斗争の
高潮は「教授会自治」「講座制」「教育の中
立性」「学向研究の自由」等の制度的

育管理秩序の根幹にとり払い難い
決定的利害と与之「自主規制」に基
く国大協・私大協路線をマヒさせた
のである。ひかる全国学園斗争が

まさに「対時的局面」に入りこの勢
力がこの局面を自らの優位な局面へ
切り拓くのか、主戦場運動がそれと
も帝国主義者かという対抗軸が之が
かかる現局面において中教審とヤニ
管法こそ帝国主義者の創から現出
面利用策として提せられたものであ
る。管申にみられる政府の大学帝国
主義的再編の基軸となるものは①管
理支配体系の中核集約化であり、文部
省―大学―学協の結合・支配を現代し